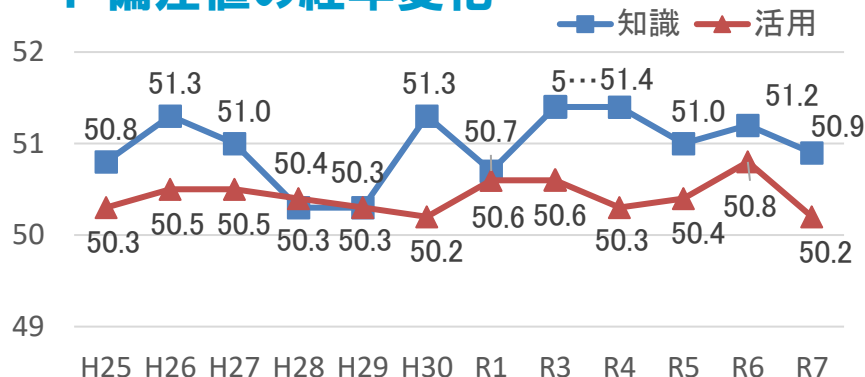


※目標値・・・学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したもの。

結果のポイント

1 偏差値の経年変化



○知識と活用ともに偏差値50を上回っている。

2 観点別の結果

観 点	県正答率	全国正答率	目標値
知識・技能	58.0	55.5	59.3
思考・判断・表現	46.1	46.0	51.5

○全ての観点において、全国正答率を上回っている。

3 領域別の結果

領 域	県正答率	全国正答率	目標値
数と式	61.3	58.4	62.0
図形	54.9	54.1	60.0
関数	47.5	46.6	50.0
データの活用	47.5	45.7	50.0

○全ての領域において、全国正答率を上回っている。

4 解答形式別の結果

解答形式	県正答率	全国正答率	目標値
選択	64.3	62.9	64.1
短答	51.5	49.4	54.7
記述	19.6	19.9	32.5

○「選択」と「短答」において、全国正答率を上回っている。
 ▲「記述」において、全国正答率を下回っている。

■ つまずきが見られた問題

大問18(3) 県正答率24.1% 県無解答率46.5%

【ねらい】 新しい条件において予想することができることについて、予想できる理由を2つの度数折れ線(度数分布多角形)から読み取った傾向をもとに説明することができる。

【問題の概要】

予想できる理由を、2つの度数折れ線(度数分布多角形)の特徴をもとに説明する。(記述)

【正答】 2つの度数折れ線(度数分布多角形)がほぼ同じ形であることから、2つのことがらは同じ傾向であることが予想できる。

◆ 考えられる原因

- 必要なデータを収集し、コンピュータなどを利用してヒストグラムなどを作成する経験が不足していると考えられる。
- データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断する学習の経験が不足していると考えられる。

★ 指導の具体例

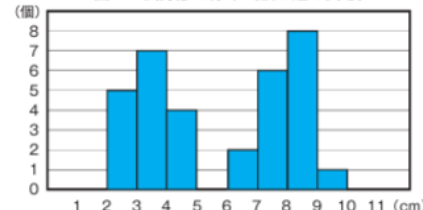
日常生活の場面では、目的に応じて資料を収集して整理し、情報を適切に読み取ったり、視点を変えてまとめ直したりして、事柄の特徴を捉えることを大切にした授業展開を構想する。

★学級みんなが美しいと思う長方形に特徴があるか考える。
○5cmの線分を1辺として書いた長方形の横の辺の長さの結果を整理する。

アンケート結果

横の辺の長さ (cm)							
8.0	8.0	7.0	6.5	2.4	4.1	3.4	
3.1	6.0	2.8	2.4	4.0	3.0	3.2	
7.5	8.0	7.5	9.0	3.0	8.2	8.5	
4.0	3.6	8.1	7.1	8.1	3.4		
2.8	2.5	7.0	8.1	7.1	4.1		

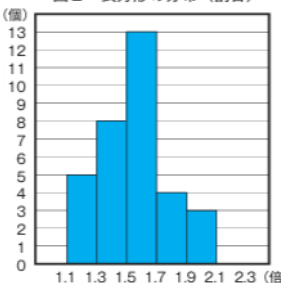
図1 長方形の分布(横の辺の長さ)



★データを加工し、資料の傾向を捉え直す。

- 長方形の長い辺の長さ短い辺の長さの比に注目し、再度ヒストグラムに整理する。
- 予想できる理由を新たに作成したヒストグラムの特徴を基に説明する。

図2 長方形の分布(割合)



＜指導のポイント＞

- 理由を説明する際には、「根拠○○」と「成り立つ事柄△△」の両方を記述するなど、数学的な表現を用いて、筋道を立てて説明できるようにすることが大切である。